



るかに安価なので、穿刺位置確認のためのエコーやCTがある施設なら適正使用指針遵守した術者がいれば導入が可能です。

残念ながら、沖縄県内の放射線科ではまだ肝臓以外に施行できる体制は築けていませんが、近日中に琉大病院で施行できるように調整中です。

【今後の展望】

緩和領域において、RFAはまだ県内には導入できていませんが、放射線治療やカテーテル治療を駆使して施行することで患者を苦しめる症状を和らげ、BSCへの移行を遅らせたりと、**ADLを維持した状態でがん患者さんの時間を作ることに繋がる**と考え治療しております。

RFAの適応拡大を受けて、今後早期に琉球大学に導入・習熟し、現在放射線治療機がないため緩和治療が十分に行えていない宮古・八重山など人口の多い離島で緩和治療のためのRFA・カテーテル治療を導入することで離島のがん患者さんの緩和治療の可能性を広げたいと考えております。

また、今後のがん治療において在宅医療との連携も重要だと考えております。入院を減らすために在宅診療所との連携（採血フォロー・状態悪化時の往診）や、BSC移行後の在宅患者でも骨転移の痛みなど局所治療（特に放射線治療）の追加が患者のADL維持に貢献できる場合もあるので、在宅医療にも従事し連携強化していく予定です。

【おわりに】

根治治療はガイドラインで治療の選択肢が概ね決まっているが、免疫チェックポイント阻害薬など有効な治療薬の登場によりがん治療が長期に及ぶ患者さんで全身抗がん剤抵抗性病変が出てきてしまった際に治療に困る場面が少なくありません。そのような場面で放射線治療が有効な場合が多く、照射以外の局所治療も含め適応が拡大しております。放射線科で状況に応じた治療法を提示できるよう、新しい治療も今後導入していく予定なのでどのような治療が可能なのかについて、その時可能な治療について相談ください。

お知らせ

文書映像データ管理システムについて（ご案内）

さて、沖縄県医師会では、会員へ各種通知、事業案内、講演会映像等の配信を行う「文書映像データ管理システム」事業を平成23年4月から開始しております。

また、各種通知等につきましては、希望する会員へ郵送等に併せてメール配信を行っております。

なお、「文書映像データ管理システム」（下記URL参照）をご利用いただくにはアカウントとパスワードが必要となっており、また、メール配信を希望する場合は、当システムからお申し込みいただくことにしております。

アカウント・パスワードのご照会並びにご不明な点につきましては、沖縄県医師会事務局（TEL098-888-0087 担当：宮城・國吉）までお電話いただくか、氏名、医療機関名を明記の上 omajimusyo@okinawa.med.or.jp までお問い合わせ下さいませようお願いします。

○ 「文書映像データ管理システム」

URL : <https://www.documents.okinawa.med.or.jp/Dshare/header.do?action=login>

※ 当システムは、沖縄県医師会ホームページからもアクセスいただけます。

